



このコーナーでは、奥州市民活動支援センターの業務を受託しているNPO法人夢追座が市内で活動する団体を紹介していきます。

思いをカタチに 地域づくりの輪

あし な ぜき 葦名堰史跡保存会

ロマんと謎に満ちた葦名堰

昨年度は、市の市民提案型協働支援事業補助金を活用し、葦名堰を紹介するリーフレットの作成と座談会を行いました。

農業に欠かせない大切な水を二の台地域にもたらし、安定した生活の基盤を築き上げた葦名堰は、先代たちの偉業であり、風化させてはいけません。静かな口調でそう語るのは、「葦名堰史跡保存会」の若槻慶之進会長です。葦名堰は、「二の台堰」や「刑部堰」とも言われ、今から400年前の元和4年（1618年）に、葦名家17代葦名盛信公が衣川増沢に水源を求めて堰の開削に着手し、60余年の歳月を経て完成したといわれています。重機などもない当時、サイフォン方式を交え、平堰と穴堰を15箇所ずつ開削し、総延長24kmの堰を完成させました。その先人の功績を後世につなげたいと平成22年10月、地元住民の有志によって同会が設立されました。



2月に行われた座談会の様子

た。リーフレットには、水源である増沢ダムから最終湧き出し口までの各通水ルートの写真が掲載され、地形を生かして開削した様子が分かります。2月に行われた座談会では、「葦名堰四百年をたどる」と題し、同会会員と胆沢古文書研究会会員である佐々木いく子氏の講演が行われました。講演では、葦名家の歴史をは



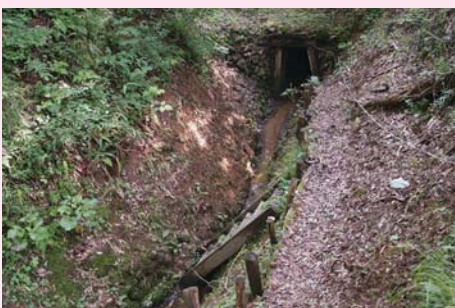
定期的に行う草刈り作業。前列左から1番目が若槻会長



葦名堰通水ルートを記したリーフレット。小山地区センターなどで配架中

地域の宝を後世に

同会設立後、定期的に草刈りや泥上げなどを行う環境整備活動に加え、堰の調査や保存活動にも会員が丸々となつて取り組んでいます。「開削400年の節目に、地域以外の人たちにも、葦名堰を築き上げた先人たちのたゆまぬ努力を知ってほしい。そして、私たちの思いに賛同してくださる人がいれば、この地域の宝である史跡と一緒に伝えていきたい」と若槻会長は熱く



葦名堰最終湧き出し口には階段を新しく設置する予定



大平裏隧道の内部の様子

語ります。

本年度も市の補助金を活用して8月に行われる一般公開に向け、最終湧き出し口まで降りる古くなった階段を撤去し、新たな階段を設置することとしています。ぜひ、ロマンあふれる葦名堰に足を運んでみてはいかがでしょうか。

<今月の表紙>

ファミリーフェスタ 2018

ファミリーフェスタ 2018（市民提案型協働支援事業）が7月1日、メイプルを会場に行われました。市内の子育て中の父母らからなる実行委員会が、体験教室などを通じて親子の絆を深め、家族の大切さを再認識してもらうために企画。オープンと同時にたくさんの家族連れが訪れ、会場は笑顔であふれました。



Public Relations Magazine Oshu City

2018.8 Vol.150

広報おうしゅう
平成30年8月号

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 思いをカタチに 地域づくりの輪
- 4 奥州市民家計調査で明らかになったこと
- 5 支障物の撤去にご協力ください
- 6 ILC希望のひかり
- 7 せいかつ百科
- 市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 8 街diary
- 10 カヌージャパンカップ グラフ

- 12 いいところ、知っとこ おうしゅう
- 13 まなびの里
- 14 もっと安心 ずっとおうしゅう
- はい、こちら総合相談室
- 15 トマス・アンナのあんなことこんなこと
- 姉妹都市 掛川だより
- 16 インフォメーション
- 20 奥州遺産



58

佐藤 紀子 さん（47歳）
＝水沢羽田町＝

おもちゃ遊びで 楽しい子育てを

「おもちゃをきっかけに、親子で過ごす楽しい時間が増えてくれたら」と語る佐藤紀子さん。子育てサロン「おもちゃの広場」を開催する「おもちゃコンサルタント」だ。保育士の紀子さんは東京おもちゃ美術館の研修に参加し、勉強していくうちにおもちゃコンサルタントの存在を知り、おもちゃ遊びの素晴らしさを広めたいとの思いから、昨年11月に資格を取得した。さまざまな施設で定期的におもちゃの広場を開催している。



※「おもちゃの広場」「グッド・トイ」への問い合わせは東京おもちゃ美術館（03-5367-9601、HP: <http://goodtoy.org/tmf/>、yotsuyaeart-play.or.jp）

グッド・トイで遊び楽しさが広がる

「グッド・トイ」は、全国のおもちゃコンサルタントが選ぶ優良なおもちゃだ。紀子さんが推薦した前沢のきこり工房製作の「創造力を養う組木クリオネ」が見事「グッド・トイ2018」林野片長官賞に輝いた。

幼少の頃、父が竹とんぼを作って遊んでくれた思い出から、親子のコミュニケーションの大切さを実感する紀子さん。「これからもおもちゃコンサルタントとしての講師の活動を続け、おもちゃで国際交流を進めていきたい」と夢は広がる。



さとう・のりこ◎昭和46年、神奈川県川崎市生まれ。結婚を機に水沢へ。市内子育て支援施設で子育て支援業務に携わり、休日はおもちゃコンサルタントとして活動している。趣味は温泉巡り